

関西大学社会安全学部社会人講座
2016年度
ものづくり企業向け

機械安全講座

社会生活が多様化/高度化し様々な事故が起きています。なかでも産業現場で使用される機械による労働災害は全体の1/4を占め、重篤な災害も多発しています。

このような事故を起こさないためには、機械メーカーやユーザーなどの事業者が主体となって、共通した正しい知識のもとに機械の安全化を積極的に促進することが必要となります。そこで、関西大学 社会安全学部と日本認証株式会社が協力して、機械メーカーやユーザー等のものづくり現場だけでなく、経営者や管理者までの幅広い層を対象とした「機械安全講座」を昨年度に引き続き2016年度も開講いたします。

こんな問題を抱えていませんか？

労働災害防止

リスクアセスメントがわからない

安全の人材育成


2015年度の講習会の様子

厚生労働省通達推奨カリキュラム修了証発行

関西大学社会安全学部の社会人講座受講修了証発行

受講者には、厚生労働省通達(基安発0415第3号)「設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全に係る教育について」で機械メーカーの経営層、機械ユーザーの経営層・購買担当者に求められる「技術者倫理」、「関係法令」の受講修了証が日本認証より発行されます。

また、関西大学社会安全学部からも受講修了証が発行されます。



セーフティベーシックアセッサ資格が取得可能

資格者5,500名以上、採用企業550社以上、海外6か国の実績

本講座は、セーフティベーシックアセッサ資格(機械運用安全分野)の講習プログラムが採用されており、講習会終了後に試験も実施します。

この資格は一般社団法人日本電気制御機器工業会が、幅広い層に機械安全の知識を普及させるために構築した資格で、厚生労働省通達(基安安発0415第1号)でも機械ユーザーの職長、作業主任者、各種安全担当者に対して有効であるとされています。

本資格を保有することは、ただ講習を受けただけでなく、機械安全に関する正しい知識を保有することを示す証になります。



プログラム

機械安全に関する技術者倫理・関係法令をはじめ、機械安全概要、リスクアセスメントと保護方策、電気安全まで機械安全を全体を通して理解することができます。

No	科目	項目	概要
1	機械安全の背景	1.1 事故の発生状況 1.2 国内外の法律 1.3 規格とものづくり	機械安全の必要性を、 環境と背景から説明
2	機械安全概要	2.1 リスクアセスメント 2.2 3ステップメソッド	機械安全の基本原則に沿って、 リスクの説明とその低減方策を説明
3	安全方策	3.1 本質安全設計方策 3.2 安全防護 3.2.1 ガード 3.2.2 保護装置（インタロック） 3.2.3 付加保護方策 3.3 使用上の注意 3.4 電気安全	安全方策の考え方と使用される 技術を3ステップメソッドに沿って、 説明
4	試験	4 セーフティベーシックアセッサ試験	試験

日程

日時：2016年7月16日（土） 9:00～17:00

場所

関西大学 高槻ミュージックキャンパス

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号

・JR東海道本線「高槻」駅下車、徒歩約7分 / 阪急京都線「高槻市」駅下車、徒歩約10分

申込方法

<受講料> 21,600円(税込)

<申込期間> 2016年6月1日(水) ～ 7月1日(金)

<お申込方法>

下記の日本認証WEBページからお申込みください。

<http://www.japan-certification.com/workshop/kansai-u/>

<受講案内と受講料お振込>

受講日の2週間前までに受講案内を郵送致します。

受講日の1週間前までに受講者名義で受講料をお振込みください。

※申込者少数の場合、開催を中止することがございます。その際は弊社より申込者様へご連絡致します。

<お振込先> 三菱東京UFJ銀行 大阪駅前支店 普通5448576 日本認証株式会社
振込手数料はご負担ください。

<お問合せ> 日本認証株式会社

TEL : 06-4807-3337 土日祝日を除く 9:00～17:30

Email : workshop@j-cert.com

◆詳細は



日本認証株式会社

JAPAN
CERTIFICATION
CORPORATION

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目7番53号Marutaビル8階

<http://www.japan-certification.com/>

TEL (06)4807-3337 (土日祝日を除く9:00～17:00)

FAX (06)4807-3350

講習会専用メール : workshop@j-cert.com

20160525